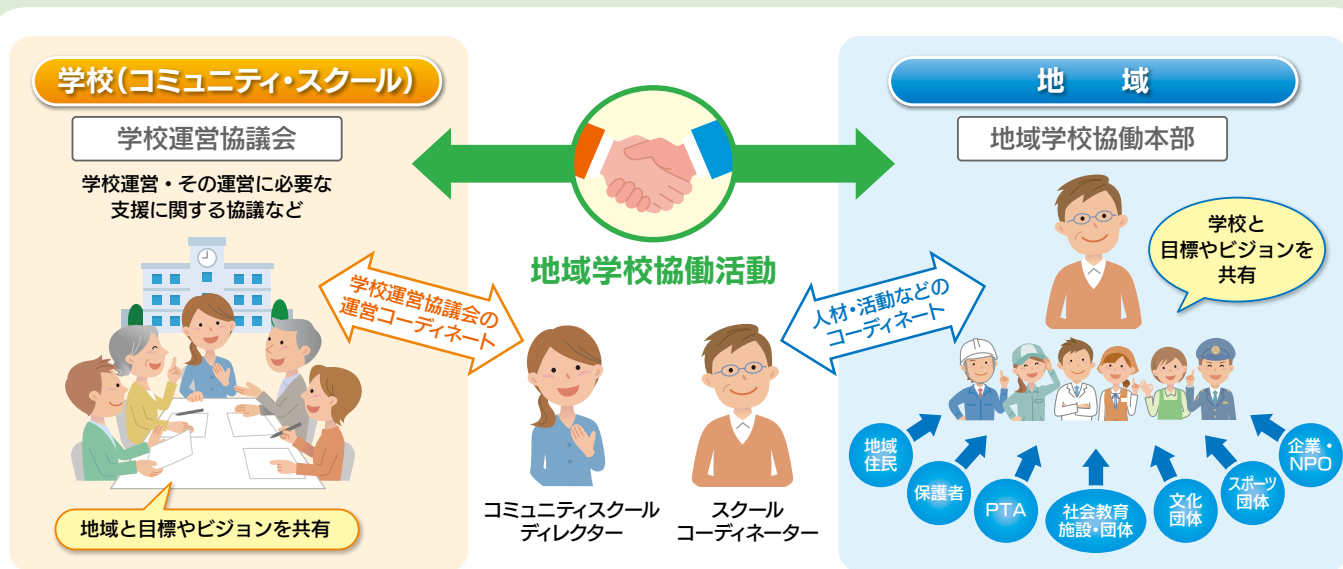




小・中学校で コミュニティ・スクールがスタート

4月から市内の全ての小・中学校に学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールがスタートしました。コミュニティ・スクールでは、地域代表と学校代表で組織する学校運営協議会を設置します。学校運営の基本方針を共有し、よりよい学校教育につながる取り組みや、子どもたちに必要な支援について話し合うことで『地域とともにある“楽しい学校”づくり』を進めていきます。

☎ 学校教育課 995-1838



生活科の学習で「昔の遊びに挑戦」がありますが、若い先生が多くて……。だれか教えてくれる人いませんか。

孫はいないけど、こま回しやお手玉なら教えてあげられそう。竹とんぼの作り方も教えることができますよ。

中学校のキャリア教育の授業で、職業講話を計画しています。地元の企業の魅力も伝えていきたい。

それはうれしい。地元の子どもたちに、自分の会社を知ってもらいたい機会だ。工場見学も受け入れますよ。

学校運営協議会で話し合われたことやアイデアを実現するために、地域の人の力を生かすことで、ワクワクする授業や体験活動が実現できます。子どもたちは、「地域の先生」の経験や技術、特技を通して多くのことを学び、地域の大人と同じ時間を過ごす中で、さまざまなことを感じ成長していきます。

地域と学校が力を生かし合うことで…

様々な人と関わりながら学ぶことで子どもたちの学びが豊かになります。

関わる大人同士がつながり、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制ができます。

地域の人といると勉強や体験ができて、
学校って楽しいな！

子ども

地域の方々に力を借りて、
もっと楽しい授業をしよう！

教職員

保護者や地域の人とつながって、
子育てが楽しいな！

保護者

子どもたちに関わることができて、
生活が楽しくなったよ！

地域の方

地域とともにある“楽しい学校”をつくっていくことができます。

私たちが地域と学校の橋渡しをします!

コミュニティスクール
ディレクター

荻田 育代さん
(須山一)



須山は小・中学校が一体となって学校運営協議会を構成しています。私は令和3年度からこの役を務めていますが、学校に協力してくれる地域の人たちが多くいるので助かっています。

ディレクターは、学校運営協議会の事務局としての役割を担っています。また、学校の要望を聞いて、子どもたちに体験学習や職場体験などの場を提供する手伝いをしています。コミュニティ・スクールにかかわる情報を地域に発信することも役割の一つです。

学校と地域が一体となり、子どもたちを育てる環境が制度化されたことは良いことだと思います。皆さんと協力して、子どもたちが学校を好きになってもらえる環境づくりをしていきます。

スクール
コーディネーター

古地 剛さん
(石脇)



私はコーディネーターを務めて7年目になります。学校から「1年かけてお茶の勉強をしたい」という相談があったときは、地域の皆さんに声掛けをして、茶摘みから手もみ、お茶の試飲までのスケジュールを考えました。ときには地域から学校の役に立ちたい、協力してほしいという声を、学校に届けることもあります。

保護者や地域の皆さんには、コミュニティ・スクールを通じ、学校でどんな活動が行なわれているのか、学校はどんな悩みや課題を抱えているかを知ってほしいです。学校は地域のシンボル。みんなで応援しましょう。

令和3年度のコミュニティ・スクール先行導入事例から

子どもの力を地域へ

中学生からの呼びかけに、地域の方も協力しました

須山中学校

令和3年7月に発生した熱海市伊豆山の土砂災害を知り、須山中生徒会を中心に、募金活動を行いました。募金箱を設置した須山地区コミュニティセンターには、地域の人から温かな善意が寄せられました。生徒会は須山小児童会にも働き掛け、多くの支援金が集まりました。



地域の力を子どもへ

「先生見て見て! 上手に書けたよ!」

富岡第二小学校

書き初めの学習に、地域の方が先生として教えに来てくれました。いつもとは違う文字の大きさ、筆の太さに子どもたちは大苦戦。困っていると、すぐに近くに来てくれて、筆の運び方や文字の大きさなどをアドバイスしてくれます。「一枚目と比べて、はらいの所がうまくなったね」と褒めてもらえると、子どもたちは満足気な表情を見せました。

